

「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて（魅力・交流・文化分野）事業評価一覧（令和2年度に実施した事業）

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
宇都宮ブランド戦略の推進	IV-13	都市ブランド戦略の推進	好循環P 戦略事業	本市の魅力や都市イメージの向上による、市民の誇りや市外からの憧れなど愛着の獲得	市内外の人、企業等	本市の魅力を知ってもらう「認知」の取組と好きになってもらう「信頼」の取組を推進	コロナの影響による変更	55,110	H20	先駆的	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】本市の情報に触れたり魅力を体験したりする機会の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により事業の4割が中止又は一部中止となるなど、プロモーションを十分に行うことができなかったが、こうした中でも、新たな魅力発信コンテンツ(動画、パンフレット、キャッチコピーポスター)を制作したほか、市民参加イベントを集合型からオンラインに変更して実施するなど、コロナ禍でも創意工夫を図りながら取組を進めた。 また、東京圏(JR池袋駅、JR新橋駅)での魅力発信やメディア向け情報配信サイトを活用した情報発信等に積極的に取り組んだ結果、メディアへの露出は前年比1.6倍に増えた。 ブランド戦略進捗状況調査において、20~30代や本市の情報に触れていない人等の認知度・信頼度が低いことや、情報入手する際に利用するメディアが年代によって異なることなどが分かったことから、ターゲットに応じて適切なメディアを選択するなどにより情報に触れる機会を更に増やす必要がある。 また、体験や参加をすることがイメージ向上に繋がっていることから、本市の魅力や良さを体感・発信する機会を更に増やすほか、ブランド戦略への市民参加を一層促進する必要がある。 <p>【②今後の取組方針】ターゲットに応じた情報接触機会の増加、魅力体験・参加・発信機会の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 20~30代をメインターゲットに据え、興味関心の度合いに応じて訴求できる効果的な媒体や情報を適切に選択するなどにより、本市の魅力や良さに触れ、認知してもらえらる機会を増やしていく。 オンラインとリアルを効果的に活用して体験や参加、発信を通じた「自分ごと」を促すほか、本市の価値や実力など良質な情報を確実に伝えるなどにより、本市の魅力や良さを体感し、信頼してもらえる機会を増やしていく。 	
みや暮らし体験事業	IV-13	移住・定住の促進	好循環P 戦略事業	地方への移住を検討する方などに、本市の魅力を知ってもらう体験の機会を提供し、本市への移住・定住人口の増加を図る。	東京圏を中心とした、本市外に在住する住民	本市での生活を体験できる機会としてのみや暮らし体験の実施	コロナの影響による変更	92	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】移住検討者の多様なニーズへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、事業周知のための積極的なPRを行うことができなかったが、参加者が2件、問合せ件数が5件あり、短期間で一定の実績があった。 参加者については、有意義な体験になるよう、事前に移住後の暮らしや働き方等についての希望や不明点を把握した上で、生活体験ツアーのプランの提示を行った。 問合せがあった5件については、いずれも首都圏在住のため、緊急事態宣言の発出により、参加を見送ったが、コロナ禍における移住のニーズ等を把握できた。 <p>【②今後の取組方針】参加者・移住検討者への支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、対策を行いながら事業を実施する。 参加者に対しては参加後も、情報提供等を行い、定期的に移住検討状況を把握する。 新たなPR媒体の活用など、効果的な事業の実施方法等について検討する。 	
本市への定住と東京圏からの移住等の促進	IV-13	移住・定住の促進	好循環P 戦略事業	東京圏在住者に本市の魅力を知ってもらい、本市へ移住・定住する人を増やす。	東京圏を中心とした、本市外に在住する方	<ul style="list-style-type: none"> 移住定住アプリなどによる本市の魅力・情報の発信 ワンストップ窓口による相談受付 本市における各種支援制度の利用促進 	計画どおり	3,236	H28	独自性 先駆的	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】移住・定住に関する情報発信の充実と支援制度の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、引き続き、「移住・定住アプリ」による情報発信を実施するとともに、県と連携して、東京圏からの移住者に対して支援金を給付する事業を実施したほか、北関東圏五県合同オンライン移住相談会に参加するなど、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、実施可能な取組を通じた情報発信を行った。 前年度と比較した移住・定住相談窓口での相談延べ件数については、上半期は件数が減少(R元:28件 ⇒ R2:20件)したものの、下半期は件数が増加(R元:22件 ⇒ R2:35件)し、通年の件数は微増したところであり、新型コロナウイルス感染症の影響による地方移住に対する機運の高まりを捉えた施策・事業の事出が求められている。 また、大学進学を契機に多くの学生が東京圏に流出していることが課題となっており、移住・定住の促進だけでなく、本市にゆかりのある東京圏在住者や本市出身学生などに対して、本市の魅力を認識してもらい関係人口の創出やUターン就職を促進する必要がある。 <p>【②今後の取組方針】移住・定住の更なる促進と関係人口の創出</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による地方移住の機運を捉えながら、引き続き、効果的な情報発信による移住・定住の促進を図るとともに、テレワーク勤務者の移住・定住に向けた取組の検討や本市と継続的な関わりを持つ関係人口の創出や東京圏に在住した本市出身学生などの若者をターゲットとした取組の強化を図っていく。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
ジャパンカップサイクルロードレースの開催	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P 戦略事業	国際大会の開催により、「自転車のまち」を推進し、交流人口の増加や地域経済の活性化、本市ブランド力の向上、シビックプライドの醸成を図る。	・NPO法人ジャパンカップサイクルロードレース協会 ・市民を含む大会来訪者、選手ほかチーム関係者	・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度の大会が中止となったことから、オンラインレース「デジタルジャパンカップ」の開催など、代替事業実施に係る経費の一部交付	コロナの影響による変更	32,800	H4	トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】大会の魅力維持と令和3年度の開催に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度の大会が中止となったことでの代替事業として、オンラインで国内外の有力選手などがレースを行う「デジタルジャパンカップ」を開催したほか、ジャパンカップのPR動画の制作・配信や、ジャパンカップに出場経験のある有名選手等からのメッセージ動画の配信を実施したことにより、ジャパンカップのブランド力の維持を図ることができた。 ・令和3年度の開催に向け、ワールドチームへの出場交渉やこれまでの大会スポンサーを中心とした協賛意向の確認、UCI(国際自転車競技連合)が示す「新型コロナウイルス感染症対策に係るガイドライン」の内容について、JCF(日本自転車競技連盟)へ詳細なヒアリングを行うなど、準備を進めることができた。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、チーム・選手の出場交渉や、協賛活動、感染症対策など、令和3年度の開催に向けた準備を進めていく必要がある。 <p>【②今後の取組方針】安全・安心な大会運営と大会開催を通じた地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、日本で唯一認定されている「UCIプロシリーズ」に相応しい大会を開催し、地域経済の活性化を図るとともに、国内外に「自転車のまち」としての本市の魅力を発信する。 ・開催に向けては、観客等の安全確保や選手の招聘、大会協賛金の確保など、大会開催に係る新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、大会の開催可否や開催内容について検討していく。 	
「3x3のまち」推進による都市魅力向上事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs 戦略事業	国際大会の開催等により、「3x3のまち」を推進し、交流人口の増加や地域経済の活性化、本市ブランド力の向上、シビックプライドの醸成を図る。	・FIBA 3x3 ワールドツアーのうちのみヤマスタース実行委員会 ・市民を含む大会来訪者、選手ほかチーム関係者	・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、宇都宮マスターズの開催を中止したことから、3x3宇都宮大会のPR動画の制作・配信など、代替事業実施に係る経費の一部交付	コロナの影響による変更	24,200	H28	トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】大会の魅力維持と令和3年度の開催に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度の大会が中止となったことを踏まえ、過去の試合映像や本市の観光資源を組み合わせた動画等の制作・配信のほか、これまでの大会の軌跡や3x3のルール等、3x3の魅力を紹介する冊子の制作などにより、3x3のブランド力の維持を図ることができた。 ・これまでの大会スポンサーを中心に令和3年度の大会に向けた営業活動を行ったとともに、FIBA(国際バスケットボール連盟)が示す新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインをもとに、感染症対策マニュアル作成に着手するなど、令和3年度の大会に向けた準備を進めることができた。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、協賛活動や感染症対策など、令和3年度の開催に向けた準備を進めていく必要がある。 <p>【②今後の取組方針】安全・安心な大会運営と大会開催を通じた地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、宇都宮マスターズを開催し、地域経済の活性化を図るとともに、国内外に「3x3のまち」としての本市の魅力を発信する。 ・開催に向けては、観客等の安全確保や選手の受入、大会協賛金の確保など、大会開催に係る新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、大会主催者であるFIBAと調整のうえ、大会の開催可否や開催内容について検討していく。 	
宇都宮サイクルスポーツ推進事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P 戦略事業	国際大会の開催により「自転車のまち」を推進し、交流人口の増加やサイクルスポーツの振興を図る。	・宇都宮サイクルスポーツ推進委員会 ・市民を含む大会来訪者、選手ほかチーム関係者	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度の宇都宮シクロクロス開催を中止したことから、シクロクロスの体験コースの設置など代替事業実施に係る経費の一部交付	コロナの影響による変更	250	H27		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】大会の魅力維持と令和3年度の開催に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度の大会が中止となったことでの代替事業として、るまんちっく村にシクロクロスの体験コースの設置などにより、シクロクロスを中心としたサイクルスポーツに親しむ機会を創出することができた。 ・令和3年度の開催に向け、これまでの大会スポンサーを中心とした協賛意向の確認や、UCI(国際自転車競技連合)が示す「新型コロナウイルス感染症対策に係るガイドライン」の内容について、JCF(日本自転車競技連盟)へ詳細なヒアリングを行うなど、準備を進めることができた。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、協賛活動や感染症対策など、令和3年度の開催に向けた準備を進めていく必要がある。 <p>【②今後の取組方針】安全・安心な大会運営と大会開催を通じた地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、UCI公認のシクロクロスを2日間開催し、地域経済の活性化を図るとともに、「自転車のまち」としての本市の魅力を発信する。 ・開催に向けては、観客等の安全確保や選手の招聘、大会協賛金の獲得など、大会開催に係る新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、大会の開催可否や開催内容について検討していく。 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
プロスポーツチーム支援事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs	3つのプロスポーツチームのホームタウン自治体として、支援策を実施することにより、シビックプライドの醸成や地域の活性化を図る。	・本市を拠点に活動する3プロスポーツチーム ・全市民	・公式戦や練習等、活動環境の向上に向けた支援 ・ファン層拡大に向けた広報支援 ・地域貢献活動等の場(機会)の提供 ・新型コロナウイルス感染症のプロスポーツチームへの影響を踏まえた本市の魅力発信に係る支援連携	計画 どおり	7,480	H18	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):ホームタウン自治体としての支援連携策の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、各チームと連携し、市内飲食店や観光地のほか、ジャパンカップや3x3の情報発信を行ったことにより、プロスポーツチームの活動機会や露出機会の増加を図ることができた。 ・国内男子プロバスケットボールリーグ「Bリーグ」が示す基準の変更に伴い、宇都宮プレックスが優先的に使用できるアリーナを確保する必要性が生じ、チームから今後のアリーナの検討に当たって相談があったことから、宇都宮プレックスとの意見交換を開始した。 ・引き続き、プロスポーツチームがもたらす効果を高められるよう、ホームタウン自治体として各チームへの適切な連携支援策を実施する必要がある。 <p>【②今後の取組方針:連携支援策の強化】</p> <p>プロスポーツチームが直面している課題を共有するため、チームとの連絡調整を積極的に行うとともに、新型コロナウイルス感染症のプロスポーツチームへの影響を踏まえた効果的な連携支援策を実施していく。</p>	
ジャパンカップ開催環境向上事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P 戦略事業	ジャパンカップコースの通信環境の改善や樹木伐採を行うことにより、レース映像の魅力向上を図り、本市ブランド力向上や協賛金の更なる獲得につなげるほか、コースの視認性向上など、走行環境の充実を図る。	・市民を含む大会来訪者 ・選手やコースを走り訪れるサイクリスト	ジャパンカップの開催環境の向上に向けた整備	計画 どおり	5,445	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):ジャパンカップ開催環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古賀志林道下り区間における樹木の剪定を行い、選手の視認性向上のほか、苔の発生抑制による走行環境の安全性向上を図った。 ・通信環境の改善に向けた、古賀志林道山頂までの光回線敷設については、引き続き、関連事業者と連携しながら、速やかに整備を完了する必要がある。 <p>【②今後の取組方針:開催環境の更なる向上】</p> <p>空撮可能範囲の拡大によるレース映像の更なる魅力向上や走行環境の向上に向け、森林公園通りの樹木を剪定するとともに、安定的なライブ配信に必要な光回線や電源を古賀志林道山頂まで整備するなど、ジャパンカップの開催環境の更なる向上を図っていく。</p>	
大谷観光景観形成事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	地域団体が実施する観光景観形成を支援し、大谷地域の観光振興を推進する	大谷地区総合開発推進協議会	大谷・多気地区の美観維持に係る費用(岩肌つた、雑草除去及び奇岩景観の保全)の一部を補助	計画 どおり	3,000	H15		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):地元団体が主体となった観光景観の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷・多気地区の良好な景観づくりに向けた、地元団体による岩だしや下草刈り等の景観形成・維持活動への支援を行い、観光景観の向上を図った。 ・大谷周辺地域の観光客増加等に伴い、地域の景観の重要性が高まっていることから、今後も活動の主体となる地域団体との連携により、景観形成事業に取り組む必要がある。 <p>【②今後の取組方針:大谷地域の観光振興の推進】</p> <p>令和3年1月に、大谷地域が景観形成重点地区となったことから、引き続き地元団体と連携を図りながら、主要な回遊動線などにおける地元団体による景観維持活動の支援を行い、奇岩群など魅力的な景観スポットへの周遊促進などを含めた大谷地域の観光振興を図る。</p>	
大谷特性活用支援事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	大谷地域の特性を活用した事業の開発等を支援し、新たな魅力となる地域産業の創出を推進する	・市内に事務所又は事業拠点を有する法人、LLP ・国内の高等教育機関、又は当該高等教育機関に所属する教職員を代表とする研究グループ	大谷の地域資源を活用した新たな地域産業等の創出や、学術的視点から調査研究を行う取組に係る経費の一部を補助	計画 どおり	4,551	H23		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):新たな地域産業等の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷周辺地域の自然や景観を活用したアウトドアアクティビティと宿泊体験を合わせた自然体験プログラムの事業化に向けた試行や、冷熱エネルギーを活用した保冷倉庫での温度・湿度環境構築の研究等の支援を行い、地域資源を活用した産業創出に向けた取組を推進した。 ・地域資源を活用しながら、新たな地域の魅力やさらなる地域活性化に繋がる地域産業等を創出していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:地域資源等の活用促進】</p> <p>これまで支援を行ってきた事業の円滑な事業化を推進するとともに、地域資源とアートの組み合わせなど新たな観光コンテンツの創出に向け、さらなる資源の掘り起こしや事業者への支援等を行う。</p>	
大谷地域資源活用事業(冷熱エネルギーを活用した大谷地域の振興)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	冷熱エネルギーを活用した事業を推進し、大谷地域の振興を図る	市内内外の企業、地域住民	・大谷地域における冷熱エネルギーの持続的活用に向けたモニタリング調査 ・冷熱エネルギー活用事業への参入促進に向け、冷熱利用機器の導入に係る経費の一部を補助	コロナの影響による変更	2,970	H24	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):最適な熱利用方策の整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷熱エネルギー活用事業の更なる拡大を図るため、3か年のモニタリング調査結果を取りまとめ、最適な熱利用に係るガイドラインを整理した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度の冷熱エネルギー活用事業への参入予定事業者の事業計画に見直しがあったが、令和4年度から大谷夏いちご栽培事業へ新規参入(栽培開始)の意向がある事業者と調整等を行った。 ・冷熱エネルギー活用に係るこれまでの調査研究等をもとに、冷熱エネルギー活用事業の普及に向け更なるPR等に取り組む必要がある。 <p>【②今後の取組方針:冷熱エネルギーの活用促進】</p> <p>産学連携により、冷熱エネルギーを活用した熟成商品の開発等に試行的に利用できる保冷倉庫が竣工したことから、地元農業者や民間事業者等による熟成商品の開発・ブランド化に向けた利用促進を支援するとともに、様々な冷熱利用方策の周知などに取り組み、冷熱活用事業の具体化を推進する。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何を)	取組(何を)						
大谷石利用促進事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	SDGs	大谷石需要の拡大及び大谷石産業の活性化を図る	市内で居宅・事務所等の新築・増改築を行う際、内外装の材料として、大谷石を活用する建築主	市内で居宅・店舗等の内外装等の材料として、大谷石を利用した者への経費の一部を補助	計画どおり	4,880	H22		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】大谷石の景観づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般住宅の外壁に、5㎡以上の大谷石を利用する場合は補助上限額を15万円に拡充するなど、大谷石を利用する建築主への支援を通じ、大谷石への愛着醸成や大谷石産業の活性化を図るとともに、本市の特徴である大谷石の景観づくりを推進した。 本市独自の「大谷石文化」を創り出してきた大谷石産業が持続的に発展するよう、今後も支援を行っていく必要がある。 <p>【②今後の取組方針】大谷石産業の持続的振興</p> <p>引き続き、補助制度による建築主への支援を実施し、大谷石産業の持続的振興を推進するとともに、大谷石材協同組合や大谷石大使と連携しながら、大谷石利用のPRを行うことで、更なる需要拡大を図る。</p>	
(公財)大谷地域整備公社運営費補助金	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進		大谷石採取場跡地等の安全対策事業を総合的に推進する	(公財)大谷地域整備公社	大谷地域の安全対策を行う大谷地域整備公社の運営費の一部を補助(栃木県2:宇都宮市)	計画どおり	31,000	H2		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】観測システムの運用による迅速な対応等</p> <ul style="list-style-type: none"> 大谷地域整備公社の運営費の補助により、観測システムによる採取場跡地での振動発生等の常時監視・解析等の円滑な実施に係る支援を行った。 振動が観測された場合においても、県・市・公社等で連携を図り、地域住民等に対して迅速に情報提供等を実施するとともに、庁内関係部署と連携し適切な措置を行った。 <p>【②今後の取組方針】着実な安全対策の遂行</p> <p>大谷地域の安全対策の推進及び市民生活の安定を図るため、引き続き観測システム等の安全対策の実施主体となる大谷地域整備公社の運営の支援を行うとともに、大谷石材協同組合による採取場跡地の埋め戻しや振動発生箇所への対応など、公社の運営以外の安全対策についても、引き続き関係機関と連携を図りながら着実に推進する。</p>	
拠点性向上事業(※建設事業を含む)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	観光周遊拠点機能の形成や地域の情報発信等により、大谷の観光拠点性の向上を図る	市民、本市来訪者	<ul style="list-style-type: none"> 観光周遊拠点機能の形成に向けた候補地や機能・規模の検討並びに測量等の実施 大谷地域ポータルサイト等による情報の発信 	計画どおり	14,092	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】施設整備に向けた設計やポータルサイトの機能追加</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大谷観光周遊拠点施設(仮称)整備基本計画」を取りまとめるとともに、整備の具体化に向けた基本設計に着手し、整備イメージ等を作成した。 観光振興や地域活性化に資する施設としていくため、誘客促進や回遊性向上等に向けた最適な運営方針の整理に向けた検討が必要である。 ポータルサイトにおいて、観光情報等を追加するとともに、大谷周辺地域でのイベント情報等がご覧できるカレンダー機能を新たに追加し、閲覧者の利便性向上を図った。 大谷周辺地域のブランド力向上や認知度向上のため、ポータルサイトを通じ更なる情報発信の強化を図る必要がある。 <p>【②今後の取組方針】施設の整備や運用方針の整理及びポータルサイトの認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年3月の供用開始に向け、拠点施設の実施設計や整備工事に着手するとともに、拠点施設を活用した滞在・交流の促進や賑わいの創出等に向け、ヒアリングなどを通して施設運用方針を整理する。 ポータルサイトの更なる認知度を向上させ、来訪者の利便性向上を推進するため、観光施設等のHPとのリンクやSNSでの更なる情報発信を行う。 	
観光地インフラ整備事業	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	SDGs	120万人の観光入込客を見据えた将来の最適な交通ネットワークの形成に向け、観光交通社会実験や道路改良等により、交通環境の向上を図る	市民、本市来訪者	<ul style="list-style-type: none"> 観光交通社会実験の実施や交通インフラのあり方の検討等 	計画どおり	9,988	R1		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】回遊性の向上や滞在時間の延伸</p> <ul style="list-style-type: none"> グリーンスローモビリティや自転車等、多様なモビリティを導入した社会実験を実施し、大谷周辺地域での回遊性の向上や滞在時間の延伸が図られた。 グリーンスローモビリティを効果的に活用しながら大谷地域内の回遊性向上を図っていくため、地域団体等と連携しながら運行体制を構築し、事業化に向けて取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針】グリーンスローモビリティの早期本格運行</p> <ul style="list-style-type: none"> グリーンスローモビリティの早期本格運行に向け、地域団体や交通事業者と連携した運行体制の構築や、回遊性向上などの効果を維持しながら事業採算性を確保するための運行のあり方の具体化を図るため、運行期間を拡充した社会実験を実施する。 	
観光宣伝事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	本市の魅力ある観光情報の発信を行うことで、本市知名度の向上及び、本市への誘客を図る	首都圏及び新幹線沿線都市を中心とし、本市外に在住する方	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット(るぶる宇都宮・ミニるぶる等)の作成及び配布 餃子、ジャズ、カクテルマップの配布 HPやSNSを活用した情報発信 	計画どおり	2,871	S59		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】効果的な観光宣伝事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症収束後に本市への来訪意欲を高めるため、観光施設や首都圏における観光キャンペーンの際に観光パンフレットを配布するなど、本市の魅力ある観光情報を伝えることで、本市の知名度及びブランド力の向上を図った。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、本市の観光振興に大きな影響を与えており、コロナ禍においても効果的な観光宣伝等を行うことで、新型コロナウイルス感染症の収束時期を見据えた観光戦略に取り組む必要がある。 <p>【②今後の取組方針】戦略的な観光PRの推進</p> <p>今後も、観光動態調査等のマーケティングによる市場分析を実施し、新型コロナウイルス感染症等の影響による旅行形態の変化を的確に捉え、各種キャンペーンの実施やSNS・メディア等のICTを活用した各種プロモーションの実施など、実効性のある観光宣伝に取り組んでいく。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
観光セールス強化事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	自治体や観光関係団体と連携しながら、首都圏や新幹線沿線都市等でプロモーションや、時期を捉えた情報発信を行うことで、本市への誘客促進を図る	首都圏及び新幹線沿線都市を中心とした、本市外に在住する方	・本市来訪の契機とするためのトップセールス、メディアの活用、キャンペーンキャラバンを実施 ・各団体と連携した国内外での観光PRの実施や広域周遊ルートの作成	コロナの影響による変更	2,995	H23		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):効果的な観光宣伝事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で新幹線沿線都市などで開催されるキャンペーンが相次いで中止や縮小になったところがあるが、一部は主催者判断により感染症対策を講じたうえで、現地でのセールスやパンフレットの配布等の情報発信を行った。 ・県内県央エリアで構成される「県央地域分科会」のほか、東日本新幹線沿線都市等で構成される「東日本連携・創生フォーラム」や「東日本連携広域周遊ルート策定研究会」といった広域的な枠組みに参画し、各種事業を展開するなど、新型コロナウイルス感染症収束後に向けた誘客宣伝活動を行った。 <p>【②今後の取組方針:戦略的な観光PRの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症で影響を受けた観光業の需要回復策を展開するため、引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、宇都宮観光コンベンション協会や観光推進委員会などとも連携を図り、首都圏などにおいて、幅広く様々な媒体を活用してセールス強化に取り組んでいく。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、国内外向けの誘客活動として県や関係団体とともに、国内での観光キャラバンや商談会・旅行博への参加、新たな観光ルートの創出などに取り組み、更なる広域連携を図っていく。 	
栃木県アンテナショップ運営事業(負担金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	首都圏において、本市観光情報を発信することで、本市への観光誘客を図る	栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」	本市加工品の販売や観光情報の発信など運営経費の一部を負担	計画どおり	3,335	H24		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):アンテナショップの活用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、休業や時短営業などの影響を受けたが、アンテナショップの一角に特設ブースを設置するなど、積極的な観光PR活動を展開することで、市の知名度やブランドの向上による誘客促進を図った。 <p>【②今後の取組方針:本市観光資源の更なるブランド力の向上】</p> <p>今後は、栃木県と意見交換を行いながらブランド力の発信に取り組むとともに、感染症の収束状況を見極めながら3密対策を講じ、イベントスペースでのPRを実施することで、観光客等に向けた情報発信等を展開していく。</p>	
大谷地域周遊促進事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	二次交通を活用した市内周遊を促進することで、観光客の利便性を高める	本市来訪者	・宇都宮満喫くるくるバス(餃子通り～若山農場～ろまんちっく村～大谷)の運行 ・バス乗車券に観光施設入場券等を付帯した企画乗車券を販売	計画どおり	1,185	H26		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):大谷周辺地域の周遊促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市北西部地域への更なる誘客促進を図るため、「大谷エリア」や「ろまんちっく村」等を周遊する従来の運行経路に加え、本市の観光スポットである「餃子通り」を組み入れることにより、観光客の満足度や観光資源の認知度の向上を図った。 ・大谷エリアのより一層の観光振興を図るため、交通事業者などの民間事業者を主体とした二次交通の確保と周遊促進を図る必要がある。 <p>【②民間事業者との連携強化】</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、事業者や観光推進委員会と連携を図りつつ、観光スポットの追加や周遊ルートの拡充について、交通事業者等と意見交換を行い、二次交通の実現を検討していく。</p>	
外国人の誘客促進事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	外国人観光客の誘客促進に取り組むことで、市内経済の活性化を図る	外国人観光客	・海外での観光プロモーション ・外国語版パンフレットの作成・配布・PR	計画どおり	8,467	H27		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):インバウンドプロモーションの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外国人旅行者の国内の受入規制などにより、積極的なインバウンドプロモーションが実施できなかった。 ・新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、外国人旅行者に対し速やかに観光プロモーションが展開できるよう、ポータルサイトの構築や来訪意欲を高めるためのFIT(海外個人旅行)向けの体験型コンテンツ作成に取り組んだ。 <p>【②今後の取組方針:更なるインバウンドの推進】</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、海外での観光情報発信と、現地旅行社社によるツアー造成に取り組むとともに、分析調査を踏まえた効果的な誘客プロモーションの実施により、更なるインバウンドの拡大を図る。</p>	
観光拠点創出事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs 戦略事業	本市の特色を活かした観光拠点を整備することで、メディア等への露出を促し、市外からの誘客促進を図る。	餃子通り(宮島町通り)	・餃子をテーマとした様々な装飾 ・マスメディア等を活用した情報発信	計画どおり	2,108	H13	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):官民一体となった観光拠点の整備】</p> <p>「餃子通り」に「餃子通り」ロゴ入りの宮染めのれんを設置したほか、餃子通り内の餃子店で、飲食・お土産購入の方に限定ノベルティを配布するなど、餃子通りの知名度、ブランド力の向上を図った。</p> <p>【②今後の取組方針:観光拠点の更なる磨き上げ】</p> <p>今後も、観光客に目的地として訪れてもらえるよう、新たなアイテムの設置など、集客性や話題性の向上を図るとともに、民間事業者等と連携しながら、餃子通りの更なる磨き上げに取り組んでいく。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
フェスタin大谷事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「フェスタin大谷」の開催を支援することで、本市の観光拠点である大谷地域観光を推進する	フェスタin大谷実行委員会	フェスタin大谷の開催に係る費用の一部を交付	計画どおり	3,000	H13		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):大谷の魅力発信】 本市の重要な観光地である「大谷」の魅力を発信し、観光誘客を図るため、「フェスタin大谷」の開催・運営の支援に取り組んだ。</p> <p>【②今後の取組方針:大谷の観光振興の推進】 今後は、大谷地域への更なる誘客促進を図るため、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、「石の里・大谷」を県内外に向けて広くPRするとともに、引き続き「フェスタin大谷実行委員会」を支援していく。</p>	
ふるさと宮まつり事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「ふるさと宮まつり」の開催を支援することで、郷土文化の醸成や本市のイメージアップにつなげる	ふるさと宮まつり開催委員会	宮まつりの開催に係る費用の一部を補助	コロナの影響による変更	2,102	S51		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):知名度向上と誘客促進】 新型コロナウイルス感染症の影響により、「ふるさと宮まつり」の通常開催は中止となったが、市民の郷土愛の醸成や本市知名度の向上を図るため、代替事業としてオンラインを活用した「ふるさと“おうち”で宮まつり」等の開催を支援した。</p> <p>【②今後の取組方針:実行委員会への持続的な支援】 今後は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、北関東最大規模の祭りである「ふるさと宮まつり」を通じて、本市の知名度向上や誘客促進を図るため、引き続き、「ふるさと宮まつり開催委員会」を支援していく。</p>	
うつのみや花火大会事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「うつのみや花火大会」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる	特定非営利活動団体うつのみや百年花火	「うつのみや花火大会」の開催に係る費用の一部を補助	コロナの影響による変更	1,500	H19		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):知名度向上と誘客促進】 新型コロナウイルス感染症の影響により、「うつのみや花火大会」の通常開催は中止となったが、今後、本市へ足を運んでもらう動機づけや、本市の知名度向上を図るため、代替事業として「おうちで花火～3万人でチャレンジ!～」の開催を支援した。</p> <p>【②今後の取組方針:実行委員会への持続的な支援】 今後は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、全国に誇れる花火大会である「うつのみや花火大会」を通じて、本市の知名度向上や誘客促進を図るため、引き続き「特定非営利活動団体 うつのみや百年花火」を支援していく。</p>	
MotoGP活用事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「MotoGPイベント」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる	MotoGPイベント実行委員会	近隣自治体とともに、イベントを開催する費用を交付	コロナの影響による変更	0	H24		<p>【①昨年度の評価】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、「MotoGPイベント」の通常開催は中止となった。 ・近年、各市町では様々な観光事業を実施していることや、実行委員会発足から10年が経過し、一定の役割を果たし終えていることを理由に、実行委員会の解散と事業の終了が決定した。</p> <p>【②今後の取組方針】 引き続き、「MotoGP世界選手権シリーズ」の開催に合わせて効果的な観光宣伝事業を展開し、本市の知名度向上及びイメージアップを図るよう、各市町と連携しながら、広域観光宣伝事業に取り組む。</p>	廃止・終了
ジャズのまち活性化事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「ミヤ・ジャズイン」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる。	ミヤ・ジャズイン実行委員会	イベントに係る費用の一部を交付	コロナの影響による変更	1,000	H22		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):ジャズを活用した中心市街地活性化、観光誘客促進】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、入場制限や検温等の感染対策を講じながら「ミヤ・ジャズイン」の開催を支援し、中心市街地において「ジャズのまちうつのみや」を発信することができた。</p> <p>【②今後の取組方針:実行委員会への持続的な支援】 今後も、新型コロナウイルスの収束状況を見極めながら、本市の知名度向上や誘客促進を図るため、「ミヤ・ジャズイン実行委員会」を支援していく。</p>	
宇都宮観光推進委員会事業(交付金等)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「デスティネーションキャンペーン」をきっかけに発足した「宇都宮市DC推進委員会」での取組を継承し、観光事業者等との連携をしながら観光事業に取り組み、官民一体となって本市観光を推進し、地域経済の活性化に寄与する。	宇都宮観光推進委員会	事業実施に係る経費を補助	計画どおり	32,500	H28		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観光需要回復策の展開】 「官民連携を図りながら、栃木県補助金を活用した「三密回避旅行商品」の造成や「プレミアム観光クーポン宇都宮」の販売など、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光需要回復策に取り組み、誘客促進や周遊促進、滞在時間の延長を図った。</p> <p>【②今後の取組方針:官民連携した観光振興】 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光需要の回復を図るため、委員の意見を踏まえながら、観光資源の創出や磨き上げなどについて、官民が連携して取り組んでいく。 ・「プレミアム観光クーポン宇都宮」の販売については、令和2年度の実施効果を鑑みて、利用者の満足度を高めるサービスの充実を検討しながら、引き続き、実施していく。</p>	拡大

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
観光コンベンション協会事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	観光振興の中核的役割を担う宇都宮観光コンベンション協会の支援を行うことで、本市への観光誘客による市内経済の活性化を図る。	宇都宮観光コンベンション協会	観光推進事業やコンベンションの誘致、フィルムコミッションなどの事業運営に要する経費の一部を補助	計画どおり	42,188	H12		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:官民一体となった観光事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光・コンベンション事業を展開する宇都宮観光コンベンション協会を支援することにより、本市観光のPRや積極的なセールス活動の実施など、本市における観光振興を図るとともに、交流人口の増加による地域経済の活性化に取り組んだ。 今後、JR宇都宮駅東口交流拠点施設の供用開始が控えており、当協会は、より一層、本市観光推進の中核的組織となる必要がある。 <p>【②今後の取組方針:観光コンベンション協会の機能強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光を取り巻く環境は大きく変化していることから、環境の変化や観光客のニーズを捉えながら、観光需要回復策に取り組む。 JR宇都宮駅東口交流拠点施設の供用開始に向けて、当協会と連携しながら、MICE誘致を推進していく。 	
宇都宮さつき&花フェア開催事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	市花のPR・花き・花木の普及定着と生産振興	宇都宮さつき&花フェア実行委員会	宇都宮さつき&花フェアの開催に係る費用の一部を交付	コロナの影響による変更	0	H8		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:知名度向上と誘客促進</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、通常開催は中止となった。</p> <p>【②今後の取組方針:実行委員会への継続的な支援】</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、市の花「さつき」の理解促進と本市への更なる誘客促進を図るため、引き続き「宇都宮さつき&花フェア実行委員会」を支援していく。</p>	
農業・農村ふれあい交流事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	農業・農村地域の活性化と交流人口の拡大	農業・農村ふれあい交流事業を実施する市内の地域農業者等で構成される団体	都市と農村の交流に係る事業費用の一部を補助	コロナの影響による変更	0	H17		<p>【①都市と農村の交流促進】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業機会が減少したため、補助実績はなかった。</p> <p>【②今後の取組方針:団体等への継続的な支援】</p> <p>市外からの観光客や市民を含む都市住民が、収穫などの農業体験を通じて、農村との交流や農村地域の活性化に期待できることから、引き続き、農作業体験等のふれあい交流事業を実施する団体を支援していく。</p>	
農林公園整備事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	農林業観光交流施設の充実	指定管理者	施設の維持保全、魅力向上に伴う整備等	計画どおり	39,414	H8		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:観光施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 来園者のニーズに対応した公園整備(既存施設の改修・修繕)を行うとともに、開館から20年を超え、施設の経年劣化が進行していることから、施設の維持修繕工事を計画的に実施したところである。 今後も、適切な管理運営を行っていくことが重要である。 <p>【②今後の取組方針:適切な管理運営】</p> <p>引き続き、指定管理者と連携を強化しながら、施設の維持修繕工事を計画的に実施していく。</p>	
地域交流館整備事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	農林業観光交流施設の充実	指定管理者	施設の維持保全等	計画どおり	3,098	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:観光施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理運営が適切に実施されるよう、モニタリングを行うとともに、開館から15年を超え、施設の経年劣化が進行していることから、施設の維持修繕工事を計画的に実施したところである。 今後も、適切な管理運営を行っていくことが重要である。 <p>【②今後の取組方針:今後の取組方針:適切な管理運営】</p> <p>引き続き、指定管理者と連携を強化しながら、施設の維持修繕工事を計画的に実施していく。</p>	
東京2020オリンピック関連事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs 戦略事業	スポーツを通じた中心市街地の活性化や市民が世界の「本物」に触れる機会の拡大等を図る。	・FIBA(国際バスケットボール連盟) ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 ・栃木県	・令和3年度に開催される東京オリンピックに併せた本市独自の取組である3x3オリンピック出場国事前トレーニングキャンプやコミュニティライブサイトの実施に向けた準備 ・栃木県が進めるハンガリー選手団の事前トレーニングキャンプへの協力	計画どおり	0	H26		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:オリンピックと連動したイベント実施に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 3x3オリンピック出場国事前トレーニングキャンプについては、誘致活動の結果、複数の国・チームからキャンプへの参加意向を得ることができた。 コミュニティライブサイトについては、基本計画書を大会組織委員会に提出したほか、新型コロナウイルス感染症対策に係るマニュアルの作成に着手するなど、令和3年度の実施に向けた準備を進めることができた。 引き続き、FIBAと連携しながら、事前トレーニングキャンプ参加国の決定に向けた調整を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策に係るマニュアルを作成するなど、令和3年度の実施に向けた準備を行う必要がある。 <p>【②今後の取組方針:安全・安心なイベント開催とオリンピックを契機とした3x3の盛り上げの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピックの動向を注視しながら、新型コロナウイルス感染症対策の徹底のもと、3x3オリンピック出場国事前トレーニングキャンプやコミュニティライブサイトを実施することにより、市民に身近にオリンピックの雰囲気を感じてもらい、シビックプライドの向上を図る。 栃木県が行うハンガリー選手団の事前トレーニングキャンプ等についても協力していく。 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
おもてなし推進委員会運営 事業(負担金)	IV-14	おもてなしの充実		市民や事業者のおもてなし能力の向上させ、本市を訪れた観光客に、「来てよかった」、「また訪れたい」と感じていただき、本市への再訪につなげる	おもてなし推進委員会	観光ボランティアの育成やおもてなしの向上に要する経費の一部を負担	コロナの影響による変更	32	H20	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):官民が連携したおもてなし体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、おもてなし向上のため予定していた勉強会等は中止となった。 ・市民や事業所など、全体的におもてなし力を向上させるため、官民協働で設置した「おもてなし推進委員会」において、「withコロナ・アフターコロナ」に対応した新しい形でのおもてなし運動を検討した。 <p>【②今後の取組方針:更なるおもてなしの充実】</p> <p>今後も、更なる「おもてなし力」の向上と充実を図るため、引き続き、「おもてなし推進委員会」を活用し、講座やセミナーの開催などに取り組み、市域一丸となって「おもてなし日本一」のまちづくりを推進していく。</p>	
観光コンベンション協会事業(負担金)	IV-14	おもてなしの充実		本市の玄関口でもあるJR宇都宮駅観光案内所において、来訪者へ丁寧でわかりやすい観光案内を行うことで、おもてなしの向上を目指す	宇都宮観光コンベンション協会	観光案内所などの維持管理及び運営事業に要する経費を負担	計画どおり	28,901	H12		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観光客への案内充実と観光需要回復に資する観光プロモーションの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客が快適に市内を周遊できるよう、JR宇都宮駅観光案内所において、各種パンフレットの配布や本市観光情報の提供などのおもてなし推進に取り組んだ。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ観光需要の回復につながるプロモーションの実施については、同時期に実施した観光需要回復策と連携を図りつつ、専用HPの開設やSNSを活用しながら、観光誘客に取り組んだ。 <p>【②今後の取組方針:案内機能の更なる充実】</p> <p>今後は、観光客が快適に観光できるよう、観光案内所における情報発信機能の向上を図るとともに、新しい旅行スタイルなどの観光客のニーズを踏まえながら、本市を快適に観光してもらえるよう更なるおもてなしの向上に努めていく。</p>	
観光振興促進事業(補助金)	IV-14	おもてなしの充実		事業者が行う、観光施設の改築や備品の購入等を支援することで、本市の更なる観光振興を図る	・本市に体験型観光施設を設置しようとする事業者、工場、伝統工芸品店その他商店等 ・大谷エリア等での新たな飲食店出店希望者	整備に要する経費の一部を補助	計画どおり	8,000	H18		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観光施設・事業所出店への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷エリアなどへの新たな出店事業者等を支援し、ものづくり等の体験施設の整備を促進することで、観光客へのおもてなしの向上を図った。 <p>【②今後の取組方針:補助金の活用促進】</p> <p>今後も、ものづくり等の体験施設や飲食・土産品販売の施設を整備する事業者への支援を行い、観光客へのおもてなしの充実に取り組んでいく。</p>	
観光情報発信強化事業	IV-14	おもてなしの充実		宇都宮観光アプリによる本市の観光情報の発信を行うことで、快適な市内観光を提供する。	国内外からの本市来訪者	アプリ運用維持管理	計画どおり	4,840	H27		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):誘客促進と市内観光案内の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の観光客に対して観光情報、飲食店情報等の発信を行うことで、観光客の受入体制の整備やおもてなしの充実を図った。 ・一方で、近年、ICT分野の技術進歩は非常に速く、アプリ導入時と比べ、様々な情報発信の手法が増えていることから、令和2年度をもって、観光アプリを廃止し、維持費や利便性の観点から新規ICTツールの導入を検討した。 <p>【②今後の取組方針:観光アプリ廃止】</p> <p>今後、ICTツールを活用した、より効果的な観光ツールである「デジタルマップ」の導入を進める。</p>	廃止・終了
外国人観光客受入体制の整備	IV-14	おもてなしの充実		外国人観光客が快適に市内旅行をしてもらえるよう、市内の受入環境を整備する。	市・民間団体等	・外国人観光客向け公衆無線LANの整備、運用維持管理 ・観光施設等における案内看板やホームページ、メニューなどの多言語化に係る費用の一部を交付	計画どおり	6,915	H29		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):外国人観光客の受入環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆無線LANの運用や外国人受入体制補助金の周知、外国語による本市の魅力的な観光資源の情報を盛り込んだ外国人向けポータルサイトを構築、民間の観光施設における多言語対応の促進など、本市を訪れる外国人観光客の受入体制の整備に取り組んだ。 <p>【②今後の取組方針:補助制度の利用促進】</p> <p>今後は、公衆無線LANの継続運用、パンフレットやアプリ、タブレット等を活用した多言語による情報発信や観光案内の充実を図るとともに、民間事業者に対し、補助制度に係る周知や働きかけを行うことで、制度の利用促進に取り組む。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
市民芸術祭共催事業負担金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	市民の芸術文化活動の発表・鑑賞機会を創出する。	宇都宮市民芸術祭実行委員会	宇都宮市民芸術祭の開催	コロナの影響による変更	2,367	S55		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):新型コロナウイルス感染症の影響により文芸部門のみ実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、「茶華道」「ギャラリー」「ホール」「メディア芸術」の各部門と表彰式は中止した。 ・令和3年1月に書面による実行委員会を開催し、令和3年度の事業実施に向けて、部会ごとに新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて開催に向けて検討していくこととした。 <p>【②今後の取組方針:新型コロナウイルス感染症防止対策に十分配慮した事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国・県の方針や、本市の感染状況を踏まえ、随時、事業毎に開催可否について検討を行いながら、開催に向けた準備を進めていく。 ・また、40周年記念事業の取組で築いたジャンルを超えた繋がりや盛り上がりを生かし、各部門において創意工夫を図りながら若い世代の参加促進に努めるほか、運営側にも若い世代の取り込みを図る。 	改善
ジュニア芸術祭共催事業負担金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	小中高校生の芸術文化活動の発表・鑑賞機会を創出する。	うつのみやジュニア芸術祭実行委員会	うつのみやジュニア芸術祭の開催	コロナの影響による変更	1,121	H11		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):新型コロナウイルス感染症の影響により2部門のみ実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初からの長期休校により、作品制作・練習時間の確保が困難であったこと、また、ステージ等での三密回避策が困難であることから、「学校美術」「学校音楽」「ジュニア文芸」「ジュニア音楽」、また表彰式については中止を決定したが、「学校書道」「学校演劇」については、新型コロナウイルス感染症対策を十分に盛り込んだ開催方法へ変更して実施した。 ・「学校書道」については、特賞作品を市ホームページで掲示・紹介することで、中止となった入賞展示会の代替措置を講じた。また、「学校演劇」については、上演終了ことに十分な喚起を行い、他校との接触を避ける、無観客とするなど、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで実施した。 ・令和3年2月上旬に書面による実行委員会を開催し、令和3年度に向けて、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて開催に向けて検討していくこととした。 <p>【②今後の取組方針:新型コロナウイルス感染症防止対策に十分配慮した事業の実施】</p> <p>学校における練習機会の確保などの課題も鑑みつつ、国・県の方針や、本市の感染状況を踏まえ、随時、事業ごとに開催可否について検討を行いながら準備を進め、今後も市民に子どもたちの活動や成長を一層感じてもらえる機会を創出するなど創意工夫を図る。</p>	改善
文化協会事業補助金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	市民主体による芸術文化の普及・振興を図る。	宇都宮市文化協会	ふれあい文化教室・文化探訪・文化協会スケッチ会の実施	コロナの影響による変更	1,380	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):様々な文化の体験機会の確保】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、うつのみや文化協会まつりについては中止を余儀なくされたが、文化協会会員が講師となり小中学校において筆・尺八や民謡、三味線や茶道など様々な文化の体験機会を提供している「ふれあい文化教室」については、臨時休校の影響は受けたものの、各小中学校から、多くの派遣要請を受け、新型コロナウイルス感染症対策を執りながら実施し、子どもたちの豊かな感性や人間力の育成のほか、郷土に対する誇りや愛着の醸成に大きく寄与した。</p> <p>【②今後の取組方針:市民主体による文化活動の促進への支援】</p> <p>宇都宮市文化協会は各ジャンルで活躍している市内芸術家を統括した団体であることから、引き続き、市民主体の文化活動への支援を行うとともに、文化協会の自主財源の強化に向けて、令和元年度に協会が新設した企業・団体等向け講座「ふれあい文化教養講座」の周知・活用を支援していく。</p>	
宇都宮エスペール文化振興事業	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	次代を担う芸術家の育成・支援を図り、本市の文化振興に寄与する。	今後の活躍が期待できる本市ゆかりの優れた芸術家	・隔年で宇都宮エスペール賞の選考、受賞者に育成金(200万円)を贈呈 ・エスペール賞の選考を行わない年は、プロボート事業(受賞者の発表機会提供事業・受賞者学校派遣事業)を実施など	計画どおり	2,690	H13	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):エスペール賞の選考による本市ゆかりの芸術家の育成・支援】</p> <p>地元の手芸芸術家を育成・支援する取組は全国的にも稀有であり、令和2年度はギャラリー部門の選考を実施し、優れた芸術家を発掘することが出来た。</p> <p>【②今後の取組方針:質の高い芸術文化に市民が触れる機会の創出】</p> <p>令和3年度は、これまでの受賞者が活動成果を発表する「プロボート事業」を開催する年度であり、美術館や文化会館などを会場としたコンサートや作品展示を行ない、市民が質の高い芸術に触れる機会を創出するほか、受賞者学校派遣事業を実施するなど、本市文化芸術のより一層の振興と取り組んでいく。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
文化創造財団運営補助金	IV-15	文化活動の充実		市民文化の創造を図り本市の文化振興に寄与するため設立した文化創造財団の円滑な組織運営を支援する。	(公財)うつのみや文化創造財団	財団の組織運営に要する経費の一部補助	コロナの影響による変更	58,949	H14		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:宇都宮市文化会館及び宇都宮美術館・文化の森の適切な管理運営の実施、及び施設管理における新型コロナウイルス感染症対策の実施</p> <p>・宇都宮市文化会館及び宇都宮美術館・文化の森の指定管理者として、国や県等の対応方針を踏まえながら、サーマルカメラや消毒液の設置など新型コロナウイルス感染症対策を十分に執りながら施設の管理運営と受託事業を円滑に実施した。</p> <p>【②今後の取組方針】:本市の文化振興の中核組織としての機能強化、及び施設管理における新型コロナウイルス感染症対策の徹底</p> <p>・財団の専門性の更なる向上と事務局機能の強化を図るため、引き続き、事務局を核として組織経営や内部統治に計画的・戦略的に取り組むほか、美術館と文化会館の連携によるアートやデザインと音楽を融合した事業や、市民全体に波及する事業を効果的に実施していただけるよう指導・支援を行っていく。</p> <p>・また、引き続き、施設管理においては、国や県の方針や、本市の感染状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、市民が安全に、また安心して文化芸術に触れることができるよう、十分に配慮する。</p>	改善
文化会館管理運営事業	IV-15	文化活動の充実		文化会館の円滑かつ適切な管理運営と効果的な事業実施により本市の文化振興を図る。	(公財)うつのみや文化創造財団(指定管理者)	指定管理者を運営主体とした文化会館の管理運営と文化振興事業の実施	コロナの影響による変更	262,202	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:新型コロナウイルス感染症の影響による各種ホール事業の中止・延期</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月19日～5月17日まで休館し、財団受託事業、自主事業の中止または延期(コンサートや演奏会など)が相次ぎ、利用料金収入が大幅に減少した。</p> <p>・大・小ホールを中心に施設利用のキャンセルや各種事業が中止・延期となったが、代替え事業として、グランドピアノの無料開放事業(「あなたにエール」)、グランドピアノ無料開放DAY)や、市役所本庁舎を会場としていた市民ホールふれあいシティコンサートを大ホールで行うなど、サーマルカメラや消毒液の設置などの新型コロナウイルス感染症対策を十分に実行しながら、市民が文化芸術活動に触れる機会の創出に取り組んだ。</p> <p>【②今後の取組方針】:施設利用の安全確保と文化団体等との連携及び情報発信力の強化</p> <p>市民の文化芸術に触れる機会を減らすことのないよう、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、会館の持つ舞台技術や事業実施の専門スキルを生かし、良質かつ魅力的な文化芸術事業を企画するとともに、地域や団体が行う文化芸術活動の支援や民間の文化活動を含めた幅広い情報の収集・発信に取り組んでいく。</p>	
文化会館整備事業	IV-15	文化活動の充実		利用者に安全で快適な施設サービスを提供する。	宇都宮市文化会館(利用者)	文化会館の施設・設備の計画保全や緊急対応	計画どおり	8,924	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:計画的な保全整備による安全かつ快適な施設環境の維持</p> <p>開館から35年以上が経過していることから、施設・設備の劣化等に伴う保全整備に計画的に取り組んだ。</p> <p>【②今後の取組方針】:第2期大規模改修工事に向けた改修手法等調査の実施</p> <p>第2期改修工事に向けた課題をより明確にするために、令和3年度は「第2期改修工事改修手法等調査」を実施し、それを踏まえて第2期改修工事の改修箇所やスケジュール等を検討する。また、経年劣化等に伴う施設・設備の故障や不具合が散見されることから、適切な計画修繕を行っていく。</p>	
美術館管理運営事業	IV-15	文化活動の充実		美術館及び文化の森の円滑かつ適切な管理運営と効果的な事業実施により本市の文化振興を図る。	(公財)うつのみや文化創造財団(指定管理者)	指定管理者を運営主体とした美術館の管理運営と企画展などの事業の実施	コロナの影響による変更	400,011	H9		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館や開催内容の変更</p> <p>・年度当初からの施設メンテナンス休館に続き、新型コロナウイルス感染症の影響による休館(令和2年4月25日～5月12日まで)措置を取り、財団受託事業、自主事業の中止または一部企画展の延期を行ったが、入館時の検温や消毒液の設置など、新型コロナウイルス感染症対策を十分に実行しながら開館し、ギャラリートークや学芸員解説などの事業も展開し、文化芸術の振興を図った。</p> <p>【②今後の取組方針】:施設の長期休館を活用したアウトリーチ事業の充実と25周年記念事業に向けた取組の推進</p> <p>学芸員の幅広い専門知識やスキルを更に活かし、これまで収集した6,800点を超えるコレクションや、大谷石や宮染めなど本市の資源を活かした館外プロジェクトの企画、自然豊かな文化の森に立地する特色を生かした事業の企画に取り組む。また、令和4年度の改修後の国体の開催に合わせてリニューアルオープンに向け、25周年記念事業に相応しい企画や看板となる購入作品を検討していく。</p>	改善

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
美術館整備事業	IV-15	文化活動の充実		利用者に安全で快適な施設サービスを提供するとともに、美術品の適切な保護を図る。	宇都宮美術館(利用者、美術品)	美術館の施設・設備の計画的保全や緊急対応	計画どおり	46,635	H9		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):計画的な保全整備のための改修工事実施設計の委託】 開館から20年以上が経過しており、平成29年度に実施した「施設劣化診断及び改修手法等調査」を踏まえ、施設・設備の劣化等に伴う保全整備に計画的に取り組むため、休館を伴う大規模改修に向けた実施設計業務を実施し、効率的な改修工事に向けた検討を行った。また、工事に伴う休館に係る条例改正などを行った。</p> <p>【②今後の取組方針:大規模改修工事の円滑な実施と工事期間中の美術作品の適切な保管】 令和4年秋までの休館期間を予定しており、スケジュールに遅滞のないよう、円滑な実施に向けて、随時必要な協議を行いながら工事の進捗確認を行うとともに、工事期間中の美術作品の適切な移動・保管に向け、関係者と綿密に連携を図る。</p>	
美術館訪問鑑賞会事業	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	子どもたちが質の高い芸術に親しむ機会を提供する。	市内小中学生	市有バス等を活用して美術館を訪問し、展覧会の鑑賞等を行う。	コロナの影響による変更	50	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):子どもたちが優れたアートに触れる機会の提供】 新型コロナウイルス感染症の影響により、申込4校のうち、2校からキャンセルがあり、最終的には2校の実施となったが、参加した児童生徒や教職員の満足度も高く、子どもたちの豊かな感性や人間力の育成に寄与した。</p> <p>【②今後の取組方針:参加しやすく魅力的な事業内容の検討】 多くの子どもたちに優れたアートに触れる機会を提供するため、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、参加校の利便性向上に努めるとともに参加者の声に耳を傾け、参加しやすく魅力的な事業内容を検討するなど、新規の学校の参加促進を図る。</p>	
よみがえれ!宇都宮城」市民の会活動補助事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民主体による宇都宮城の歴史の伝承及び郷土愛の醸成	「よみがえれ!宇都宮城」市民の会	城址まつりや歴史講演会等を通じ、宇都宮城の歴史の伝承や郷土愛の醸成を目的とする活動費の助成	コロナの影響による変更	5,638	H14		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):宇都宮城址公園を活用したイベントの実施】 ・よみがえれ!宇都宮城」市民の会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった、「城址まつり」等の代替事業として「城址まつり」のPR動画を制作、HPで公開した。また、宇都宮城を市内外の多くの方にPRするため、関係機関等と協議し、城址公園に来た記念として、御城印・御城印帳を製作、販売し、新たな収入源を確保した。 ・市民の会の会員増加策とし、幅広い世代の会員獲得へ向け、フェイスブックなどのSNSを活用した情報・魅力発信を実施しているが、令和2年度においては、イベントを中止したことから、入会案内の機会が限られたため、会員が減少した。</p> <p>【②今後の取組方針:新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた運営】 ・イベント開催については「新しい生活様式」に対応した運営ができるよう支援していく。 ・より多くの市民に宇都宮城の歴史を伝え、郷土への愛着や誇りを醸成させていくため、同会がさらに魅力ある団体となり正会員が増加するよう支援をしていく。 ・市民の会内で検討した「宇都宮城の魅力向上」の実現に向けた活動を支援していく。</p>	
指定文化財管理費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		所有者と連携し貴重な指定文化財等の保存を図る。	市内の指定文化財等の所有者	指定文化財等の維持管理に要する経費の一部を補助	計画どおり	97	S31		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):計画的な維持管理による安全かつ良好な文化財の保存】 計画的な維持管理に取り組み、国指定文化財として価値の保存を図った。</p> <p>【②今後の取組方針:貴重な文化財の保存・継承の推進】 貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、文化財の適切な維持管理の取組を支援していく。</p>	
指定文化財等保存修理費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		所有者と連携し貴重な指定文化財等の保存や活用を図る。	市内の指定文化財等の所有者	指定文化財等の修理に要する経費の一部を補助	計画どおり	1,336	S31		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):計画的な維持管理による安全かつ良好な文化財の保存】 計画的な維持管理に取り組み、指定文化財として価値の保存を図った。</p> <p>【②今後の取組方針:貴重な文化財の保存・継承の推進】 貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、文化財の適切な維持管理の取組を支援していく。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
指定文化財保存活動費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民協働により貴重な指定文化財等の保存や活用、継承を図る。	市内の指定文化財等の保存・愛護活動団体	指定文化財の維持管理活動や伝承活動等に要する経費の一部を補助	計画どおり	1,137	S32		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:市民主体による文化財の保存・継承の推進】 文化財保存・愛護団体における文化財周辺の清掃・除草作業、獅子舞の練習や祭りへの参加、民俗衣装や道具の更新などの取組を通じて文化財の保存や継承を図った。 文化財保存・愛護団体は、高齢化等により活動が停滞傾向にあり、地域ぐるみでの活動の促進が求められる。</p> <p>【②今後の取組方針】:市民による文化財保存活用の推進】 社会全体で歴史文化資源を将来に引き継いでいくため、令和元年度に「宇都宮市民遺産制度」を創設したところであり、今後は本補助制度と「宇都宮市民遺産制度」を両輪として、市民による文化財の保存活用を支援していく。 また新型コロナウイルス感染症の影響により各団体の活動が停滞する可能性があることから、適切な対応・支援を行っている。</p>	
文化財ボランティア支援事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民協働により貴重な文化財の周知啓発を図る。	宇都宮市文化財ボランティア協議会 市民、来訪者	文化財ボランティア養成講座の開催、城址公園等における案内活動等の実施	コロナの影響による変更	68	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:新型コロナウイルス感染症の影響による団体活動の縮小】 新型コロナウイルス感染症の影響により、宇都宮城址公園等で実施していたボランティアガイド活動を中止(再開未定)としたほか、ボランティア養成講座(6月～2月予定)も中止するなど、団体活動が停滞した。</p> <p>【②今後の取組方針】:団体活動の再開に向けた支援】 新しい生活様式に対応した団体活動の進め方などについて、宇都宮市文化財ボランティア協議会と意見交換を重ね、ボランティアガイド活動などがスムーズに再開できるよう支援していく。</p>	
文化財周知啓発事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市の歴史文化や文化財に対する理解促進や認知度向上を図る。	市民、来訪者	文化財めぐり・普及啓発資料の作成等の実施	計画どおり	320	H3		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:各種事業の実施を通じた歴史文化に対する意識の高揚】 テーマに応じた文化財に触れる機会の創出や学校教育と連携して中学校版の副読本や教師用の指導書の作成に取り組み、市民や子どもたちの郷土に対する誇りや愛着の醸成を図った。 文化財めぐりについては、参加者を10人以下のグループに分け、マスク着用、検温などの感染予防策を講じて実施した。</p> <p>【②今後の取組方針】:多様なツールを使った普及啓発の推進】 宇都宮の歴史や伝統文化の理解促進や認知度向上のため、文化財めぐりや「歴史と文化財ホームページ」、「宇都宮学」などの多様なツールによる普及啓発に取り組んでいく。</p>	
宇都宮伝統(ふるさと)文化継承事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	市民協働により本市に伝わる伝統文化・芸能・食等の保存と継承を図る。	宇都宮伝統文化連絡協議会	伝統文化フェスティバル・宮っ子伝統文化体験教室・伝統文化講座・ふるさと料理講座等の実施	コロナの影響による変更	1,617	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:伝統文化に触れる機会の確保】 伝統文化連絡協議会会員が講師となり小中学校において獅子舞等の伝統芸能や黄ぶな絵付け等の伝統工芸、地域に伝わる民話等の体験機会を提供している「宮っ子伝統文化体験教室」は、ほぼ計画どおり実施することができた。 一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、伝統文化フェスティバル(10月)が中止となったほか、その他の講座の大半が中止となった。伝統文化・芸能・食等に触れる機会を確保していくことが求められる。</p> <p>【②今後の取組方針】:市民主体による伝統文化の継承活動への支援】 「伝統文化フェスティバル」や各種講座について、新しい生活様式に対応した開催方法を検討して実施するほか、「宮っ子伝統文化体験教室」を年30回実施することで、伝統文化に身近に触れる機会を創出するとともに、地域における継承活動の環境づくりや人材育成への支援を図っていく。</p>	
文化遺産を活用した地域活性化事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	・歴史文化基本構想に基づき、本市の歴史文化資源に対する理解促進と認知度向上を図る。 ・地域ぐるみでの歴史文化資源の保存活用	・宇都宮市歴史文化資源活用推進協議会 ・指定・未指定の歴史文化資源	・本市の歴史文化を紐解くエイト・ストーリーの普及啓発の実施 ・令和元年度創設「宇都宮市民遺産制度」の普及啓発及び認定団体への活動、補助金活用等の指導・助言	計画どおり	27,743	H28		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:本市の歴史文化資源の普及啓発及び保存・活用の推進】 本市の歴史文化の魅力や特色を紐解くエイト・ストーリーの更なる普及啓発に向け「宇都宮城映像コンテンツ制作」に取り組んだほか、令和元年度に創設した「宇都宮市民遺産制度」の運用をはじめ9団体を認定するなど、文化遺産を活用した地域の活性化を着実に推進した。</p> <p>【②今後の取組方針】:本市の歴史文化資源の普及啓発及び保存・活用の推進】 「歴史と文化財ホームページ」やSNSなどの視覚的な情報ツールを用いてエイト・ストーリーの更なる普及啓発を進めるとともに、宇都宮城映像コンテンツを活用して宇都宮城の情報発信を推進する。また、「宇都宮市民遺産制度」について、引き続き制度の周知を図り、市民や地域団体の公募への関心を高めるとともに補助対象となった団体への支援に努めていく。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
日本遺産を通じた大谷石文化の保存・活用事業	Ⅳ-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	・「日本遺産 大谷石文化」の理解促進と認知度向上、保存活用を図る。 ・大谷地域の重要な文化的景観選定に向けた取組を推進する。	・宇都宮市大谷石文化推進協議会 ・人々の生活や生業などにより作られた大谷地域の文化的な景観	・調査研究・情報発信・普及啓発・人材育成に係る事業の実施 ・大谷地域の重要な文化的景観選定に向けた調査検討の実施	計画 どおり	9,728	H30	独自性 先駆的	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】宇都宮市大谷石文化推進協議会を核とした魅力発信事業の推進 官民連携で設立した宇都宮市大谷石文化推進協議会を核として、大谷石文化の保存や活用に向け、情報発信・普及啓発・人材育成に係る様々な事業を実施した。大谷石化学市民講座では、新型コロナウイルス感染症対策としてZoomによるオンライン形式を導入するなど、新しい生活様式に対応した新たな取り組みも行った。 また、大谷地域の文化的景観を将来にわたって保存するため、国の重要な文化的景観選定申出に必要な文化的景観保存計画の策定作業に取り組んだ。</p> <p>【②今後の取組方針】大谷石文化に係る市民理解の促進と認知度向上 様々な機会や媒体を通じて大谷石文化の価値や魅力の情報発信や普及啓発の充実を図り、地域の活性化につなげるほか、官民連携により大谷石文化を保存活用する取組を推進するとともに、協議会が持続的に活動できる組織体制づくりに取り組んでいく。また、大谷地域の重要な文化的景観選定に向け、所有者及び地域の合意を得ていく。</p>	
文化財調査事業	Ⅳ-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	・文化財保護法に基づき、開発行為に伴う埋蔵文化財の適切な保護を図る。 ・市民協働により指定文化財の適切な保護を図る。	・市内の埋蔵文化財包蔵地 ・市内の指定文化財等	・埋蔵文化財包蔵地における開発行為に伴う発掘調査等の実施 ・宇都宮市文化財調査員活動の実施	計画 どおり	7,447	S42		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】埋蔵文化財及び指定文化財の適切な保護 民間大規模開発に係る確認調査が開始したところであるが、文化財保護法に基づき、適切な保護を図った。また、宇都宮市文化財調査員と連携し指定文化財の現況を調査・把握し、修繕を行うなど適切な保護を図った。</p> <p>【②今後の取組方針】民間事業者の法令遵守意識の高揚による埋蔵文化財の適切な保護の推進 文化財保護法に基づく届出を行わず埋蔵文化財包蔵地において開発行為等を行う事案が年数件発生していることから、開発許可窓口所周知文書を備え付けるなど、民間事業者に対する法令遵守や文化財の適切な保護に対する意識高揚や指導の徹底を図っていく。 また、引き続き民間事業者による大規模開発に係る大規模な確認調査が見込まれることから、埋蔵文化財の適切な保護に努める。</p>	
とびやま歴史体験館活用・啓発事業	Ⅳ-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市の歴史文化に対する理解促進を図る。	市民、来訪者	企画展・講演会の開催	計画 どおり	117	H17		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】本市の歴史文化に関する普及啓発の推進 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、様々なテーマによる企画展や講演会を開催し、本市の歴史文化に対する理解促進に努めた。</p> <p>【②今後の取組方針】とびやま歴史体験館の効果的な活用に向けた検討 LRTの整備・開通を見据え、とびやま歴史体験館のより効果的な活用や誘客促進について検討を進めていく。</p>	
飛山城跡整備事業	Ⅳ-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	飛山城跡の適切な保存と活用を図る。	飛山城跡(国指定史跡)	施設・設備の整備・維持管理	計画 どおり	0	S52		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】飛山城跡の効果的な活用に向けた検討 LRT電停停留所(飛山城跡停留所)からの誘導について検討を行い、鬼怒川方向から公園南側を通過するルートについては、一部が令和2年12月25日に土砂災害警戒区域(傾斜地)に指定され、来園者を誘導するに当たって課題があることを把握した。</p> <p>【②今後の取組方針】飛山城跡の効果的な活用に向けた検討 LRTの整備・開通を見据え、飛山城跡や周辺文化財の案内など効果的な活用について検討を進めるとともに、経年劣化に伴う復元建物等の計画的な保全整備を図っていく。</p>	
うつのみや遺跡の広場改修事業	Ⅳ-15	文化の創造・継承、保存・活用		うつのみや遺跡の広場の適切な保存と活用を図る。	根古谷台遺跡(国指定史跡)	施設・設備の整備・維持管理	計画 どおり	275	S52		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】うつのみや遺跡の広場の効果的な活用に向けた検討 復元建物(J-5)について、令和3年1月に強風により、西側の茅葺屋根が崩落した。同月に応急処置を施したが、葺き替えが必要な状況である。</p> <p>【②今後の取組方針】うつのみや遺跡の広場の効果的な活用に向けた検討 平成3年3月の開園から30年以上が経過しており、復元建物を含め施設の老朽化が進んでいる。引き続き、施設の老朽化に適切に対応するとともに、ICTの活用も含め今後の施設の維持管理のあり方について検討を進めていく。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R2 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
上神主・茂原官街遺跡保存 整備事務費	Ⅳ-15	文化の創造・継承、保存・ 活用		上三川町と連携し上 神主・茂原官街遺跡 の適切な保存と活用 を図る。	上神主・茂原官街遺 跡(国指定史跡)	普及啓発事業の実施、保 存のあり方の検討	コロナの 影響に よる変 更	0	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】普及啓発の推進及び整備のあり方の検討 ウォーキングの開催や中学1年生向けパンフレットを配布するなど普及啓発に取り組んだ。整備のあり方を検討する保存整備委員会については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、延期とした。</p> <p>【②今後の取組方針】普及啓発の推進及び整備のあり方の検討 上三川町と連携しながら保存整備委員会において今後の活用方策や整備のあり方等について引き続き検討を行うほか、史跡周辺のウォーキングや「宇都宮学」を活用するなどの普及啓発事業を実施し、認知度の向上と保存に向けた機運醸成を図っていく。</p>	
史跡等整備事業	Ⅳ-15	文化の創造・継承、保存・ 活用	戦略事業	市内の文化財や史 跡、天然記念物等の 適切な保存と活用を 図る。	市内の文化財や史 跡、天然記念物等	旧大谷公会堂(国登録有 形文化財)の保存	計画 どおり	35,717	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】計画的な保全整備による安全かつ良好な史跡等の保存 史跡等の計画的な保全整備に取り組み、文化財としての価値の保存を図った。 道路拡幅工事に係り移築する旧大谷公会堂について、適切な補償金を受け、文化財としての価値を保ちながら適切に解体工事を進めた。</p> <p>【②今後の取組方針】貴重な史跡等の保存・継承の推進 貴重な史跡等を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、史跡等の適切な保全整備の取組を推進していく。 旧大谷公会堂の再築に向けて、文化財の価値を適切に保存できるよう、関係課と連携を密にしながら取り組んでいく。</p>	
うつのみや百人一首市民 大会交付金	Ⅳ-15	文化の創造・継承、保存・ 活用	戦略事業	本市ゆかりの百人一 首に触れ親しむ機会 の創出を通じて、郷土 愛の醸成と本市のプ ラント力の向上に寄 与する。	うつのみや百人一首 市民大会実行委員 会	うつのみや百人一首市民 大会の開催、誕生記念全 国競技かるた宇都宮大会 の開催、百人一首普及啓 発事業の実施	コロナの 影響に よる変 更	17	H8	独自性 トップクラ ス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】新型コロナウイルス感染症の影響による大会と関連事業の中止 ・新型コロナウイルス感染症の対策が困難であることから、市民大会及び誕生記念全国競技かるた宇都宮大会を中止とした。また、市民大会と連動して実施していた各種イベントにおけるブース出展や体験事業についても、出展イベントの中止に伴い中止となった。 ・令和3年2月に書面による実行委員会を開催し、令和3年度に向けて、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら開催に向けて検討していくこととした。</p> <p>【②今後の取組方針】感染防止対策に十分配慮した事業の実施 国・県の方針や、本市の感染状況を十分に踏まえ、開催可否について検討を行いながら、開催に向けた準備を進めていく。</p>	
ジャズのまち普及事業補助 金	Ⅳ-15	文化の創造・継承、保存・ 活用	戦略事業	ジャズを核とした幅 広い音楽の振興を通じ て、郷土愛の醸成と 地域の活性化に寄与 する。	うつのみやジャズの まち委員会	ふれあい文化教室・渡辺 貞夫ライブ・まちかどビ デオ・ジャズセミナー・学校普 及ジャズ等の実施	コロナの 影響に よる変 更	950	H22		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】新型コロナウイルス感染症の影響による各種イベントの中止 ・子どもたちが本市ゆかりのジャズに親しむ機会を増やすため、教育普及事業として学校に専門講師を派遣する「ふれあい文化教室」を実施した一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、渡辺貞夫ライブやミヤ・サンセットジャズ、宮ふれあいステーションジャズ等を中止することとなったが、代替事業としてジャズ等の音楽団体へ練習場所を提供する「オリオンスクエア公開練習」を実施したほか、うつのみやジャズのまち委員会ホームページにおいて、おすすめのジャズをリレー形式で紹介するコラムを掲載するなど、ジャズを核とした音楽の振興に努めた。</p> <p>【②今後の取組方針】感染防止対策を講じた安全なイベントの開催と20周年事業の実施 ・うつのみやジャズのまち委員会や観光交流課との連携を強化し、音楽のあふれるまちの更なる活性化に向け、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を展開していく。 ・令和3年度に委員会誕生20周年を迎えることから、記念コンサートの開催及びジャズ史の編纂に取り組む。</p>	
妖精資料活用事業	Ⅳ-15	文化の創造・継承、保存・ 活用	戦略事業	妖精ミュージアムを核 とした妖精資料の普 及啓発を通じて、中心 市街地の活性化に寄 与する。	市民、来館者	企画展の開催、ギャラ リートーク・読み聞かせ等 の実施	コロナの 影響に よる変 更	11,104	H19	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館や開催内容の変更 ・新型コロナウイルス感染症の影響による休館措置がとられたほか、年度当初はギャラリートークの中止など計画していた事業の一部において変更を余儀なくされたが、入館者の検温や消毒液の設置や、ギャラリートークを事前予約による定員制とするなど、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら開催した。 ・また、これまでのツイッターでの情報発信に加え、現在主流となっているインスタグラムを活用した館内紹介などの情報発信を新たに開始し、新型コロナウイルス感染症の影響により外出控える人へのPRと中止・延期が続いた事業の代替事業に取り組むなど、工夫しながら事業を展開した。</p> <p>【②今後の取組方針】親子をターゲットとした企画等の充実及び中心市街地の活性化への寄与 ボランティアとの連携を図りながら円滑に施設運営を行うとともに、ゆうあい広場との連携強化やファミリー向けの企画など魅力的な事業を実施するほか、全国的にも稀有な妖精ミュージアムとして、SNSを活用してイベント情報を随時発信するなど、市内外への効果的なPRを行い中心市街地の活性化を図っていく。</p>	